

皆様からたくさんのご寄付をいただきました。
ご協力に感謝し、大切にに使わせて戴きます。
ありがとうございました。

(2025/08/16～10/15 現在)

●西川涼太 様
・アルミ缶

●三輪久美子 様
・アルミ缶

●ときわホルモン 様
・トイレットペーパー、台所用洗剤

●乾夏樹 様
・トイレットペーパー、ティッシュペーパー

●瀬口春華 様
・トイレットペーパー、ティッシュペーパー、アルミ缶

●中川匠 様
・衣類、メロディーブック

●宮林幸子 様
・トイレットペーパー、ティッシュペーパー、サラダ油

●高橋朋幹 様
・アルミ缶

●馬淵由美 様
・アイス

●阿部佑子 様
・野菜、果物

●三田昭二税理士事務所 様
・ハロウィン用お菓子、飾り

●後藤俊一 様
・タオル

●安藤初男 様
・野菜、果物

●藤岡龍義 様
・玉ねぎ

とむての森 Instagram



NPO法人 **とむての森** 2025年度(令和7年度)
会員ご登録者様
開不同・敬称略：令和7年10月15日時点

●篠原栄太 様
・会員（議決権なし / 寄付金なし）

●向井啓二 様
・賛助会員



M MARUHAN

毎年、定期的にお菓子を届けてくださるマルハン北見店様、端野店様ですが、6月、9月に続いて10月にも、たくさんのお菓子が届けられました。10月は各事業所でハロウィンイベントがありますので大変助かります。今回もマルハンマスコットの「にゃんまる」と一緒に写真撮影!! マルハン端野店・北見店のスタッフの皆様、そしてお客様、いつもたくさんのお菓子をありがとうございます。いただいたお菓子等々は、大切に有効活用させていただいております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

事務局長 文：弓山祐子

TOMUTE MAGAZIN

<https://tomutenomori.or.jp>

2025 YEAR
NOVEMBER & DECEMBER
No.238



秋に入りました。北見市では財政の問題が多く取り上げられています。ネーミングライツの取り組みは地元企業を中心に進んでいますが、ふるさと納税による寄付の増額は、果たして計画通りにできるのかなど気になるところです。さて、とむての森では10月から最低賃金の改定に伴い、若年者を中心に賃金の引き上げを実施させていただきました。介

護報酬はそれに伴って引き上げられることはないため、経営への影響は直接及びます。さらなる賃金上昇への対応と、さらなる労働環境の改善ができるような介護報酬体系を、国を含めた行政には是非実現していただきたいと改めて感じています。新型コロナウイルス感染症に対する市民の警戒心は薄くなりつつありますが、流行は続いており、高齢の方

や疾患のある方には特に注意が必要な状況に変わりありません。インフルエンザも流行が早く始まっているとの報道もありました。手洗いうがいに加えて咳などの風邪症状があるときは、マスク着用などの凡事徹底を心がけて予防に努めて行きましょう。

特定非営利活動法人とむての森
代表理事 平賀 貴幸

Supported by **日本財団**
THE NIPPON FOUNDATION
あなたの1本が社会貢献に
日本財団チャリティー自販機
ドリンクを買うだけでできる、社会貢献があります。



飲料1本につき10円を社会貢献プロジェクトにご寄付いただく、自動販売機です。これまでに、全国で8,000台以上が設置され、1本10円のご寄付は累計で18億円におよびます。皆さまからいただきましたご寄付は、間接費には使わず100%全額を「子ども第三の居場所」「難病児支援」「日本財団夢の奨学金」「災害復興支援特別基金」「HEROs」「様々な社会貢献」に活用いたします。お近くにお越しの際は、ぜひご協力をお願いいたします。

あなたの買い物で誰かを幸せにするくみ
イオン 幸せの黄色いレシート
お買い物が楽しい! 家族を幸せにする! 黄色いレシートを大切に! たくさん集めてください! 黄色いレシートをたくさん集めてください! 黄色いレシートをたくさん集めてください!

とむての森は、イオン北海道(株)イオン北見店様の「イオン・デー」にて実施されている「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に登録をさせていただいています。毎月11日は「イオン・デー」です。イオンで買い物をし、黄色いレシートを「とむての森」のBOXに入れてください。よろしくお願いいたします。

会員募集
私たちは皆様のご協力で福祉活動を行っています。
・とむての森のサービスを利用してみたい方
・ヘルパーのお仕事をしてみたい方
・応援してくださる方
正会員 7,000円/年 (総会議決権あり)
会員 2,000円/年 (総会議決権なし)
ボランティア 2,000円/年 (総会議決権なし)
賛助会員(一口) 3,000円/年 (総会議決権なし)
※詳しくは、お問い合わせください。



暑かった夏もようやく終わり、気温も日に日に下がってきました。9 月に入ると山の木々が色づき始め、10 月上旬には高い山では初雪が観測されるなど着実に冬に近づいています。10 月中旬には朝の気温がマイナスになり、日中でも 10℃ほどにしか気温が上がリません。平地でもそろそろ雪がちらつき始め、今年もまた長い冬に入ります。こんねの畑では、9 月が収穫期のピークとなりトマトやきゅうり、なすにピーマンなどの夏野菜の他にもかぼちゃやさつまいも、大豆にと秋野菜の収穫もしています。今年は夏場の高温と雨不足から、形がいびつだったり、小さかったり、大きすぎたり、例年より収量もかなり少なくなっていますが、今年のような天候の中でもこれだけの野菜が収穫できたことに感謝です。そして今年も無事に野菜が採れた自然の恵みに感謝し、9/20（土）に収穫祭を開催することができました。当日は天候にも恵ま

れ多くの方々に足を運んでいただきました。お忙しい中お越しいただき本当にありがとうございます。この場を借りて御礼申し上げます。野菜はもちろん、この日限定の野菜ビザは大人気で、行列になるほどです。「楽しみにしてたよ！」との嬉しいお言葉もいただきました。今年の野菜の状況から、開催は難しいのかも、、、と不安な気持ちでしたがやっぱり開催して良かったです。たくさんの方々と直接話すこともでき、私自身も楽しい時間を過ごすことができました。これも野菜が収穫できたからです。自然の恵みに感謝できないです！！またこの日の為に準備等に協力してくれたこんねメンバーやスタッフにも感謝です。来年もまた開催できるように頑張りたいと思います。 こんねメンバーは、涼しくなったこともあって、元気いっぱい活動しています。収穫の他にも肥料袋に入った土（15 キロほどあります）を運んだり、ミ

ニコンテナに草をいっぱい入れて運んだりと力仕事も最近は進んでしています。メンバー同士が声かけあったりと微笑ましい時もあります。一人より二人。二人より三人！休憩時間のおしゃべりも楽しみながら取り組んでいます。まだまだ畑作業がありますが、メンバー皆と楽しく取り組んでいきたいと思います。



How many more sleeps until Christmas?
もう幾つ寝るとクリスマス

ホームヘルプサービス事業所「どんぐり」文：鹿野杏介



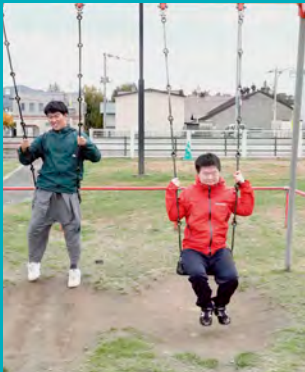
人間は、嘘をつく時には、必ず、真面目な顔をしているものである。鹿野は今年の年末には両親や周りの人に感謝を伝えてボーナス全額募金します。ぶ！ それにしても年末が近づき、いよいよ寒くなってきましたね。値段が高騰している灯油を焚いて、値段が高騰している野菜と肉をいっぱい入れた鍋でもつづきたいものです。 さてはて、どんぐりのお話です。どんぐりでは 10 月にお月見とハロウィンを行いました。お月見と言っても屋間なので、鹿野の顔を見つめながらお月見団子を食べています。というか、実は食べたのは団子でもなく饅頭です。お月見団子じゃなく、お月見ない饅頭です。ハロウィンにはお面や帽子をつけて、お菓子を貰っています。 12 月には、どんぐりでもクリスマスには何かをする予定です。何かは未定です（笑） さて、今回の挨拶は、何の小説の一節でしょう？ ヒントは、、、〇〇族です。答えは次号にて！ 先々月号の答えは、アシモフの「アイロペット」でした！ なんの事かわからない人は先々月号を見てね！



生活支援事業所「ほつご」文：喜多村恒夫

全国手をつなぐ育成会の情報交流誌「手をつなぐ」（2025年9月号）に、成年後見人制度の記事が載っていました。私としても関心のあることなので、動向について紹介します。（2021年8月のアンケート調査結果より） 自分の思いや考えをうまく伝えづらい本人たちが、家族がいなくなっても権利が守られ尊厳をもつて支えられ、安心して暮らせるような制度になることが求められています。今後期待されることとして、制度利用に際して発生する報酬に関しては、障害基礎年金だけの暮らしが成り立つようになること、担い手の確保をしていくことなどです。制度ばかりが先行し、本人が置き去りにならないよう「成年後見人制度は本人の人生の伴走者であってほしい」という保護者の声は切実でした。今後、国連の障害者権利条約に沿った制度にするためには、さらに検討を重ねる必要があるとのことでした。

今後の
後見人制度に
期待するところ





Winter is almost here,
and REIWA 7 is about to end...
もう少しで冬、
そして令和7年が
終わりそう、、



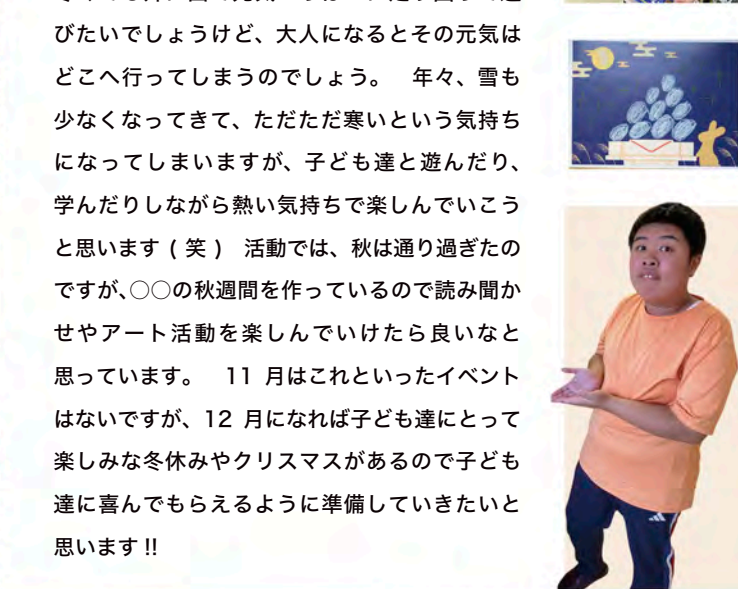
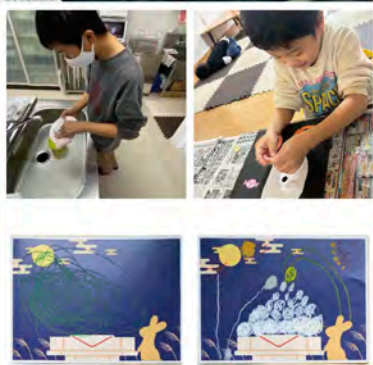
Autumn earlier than expected だんだん寒い季節に…

放課後等デイサービス事業所「のーむ」 文：小賀美洋

寒い季節になり外に出たくない気温になりましたね。今年は熊の出没情報が多かったので、熊も冬眠していてほしいものです。子ども達は、寒くても外に出て元気いっぱい走り回って遊びたいでしょうけど、大人になるとその元気はどこへ行ってしまってしまうのでしょうか。 年々、雪も少なくなってきて、ただただ寒いという気持ちになってしまいますが、子ども達と遊んだり、学んだりしながら熱い気持ちで楽しんでいこうと思います（笑） 活動では、秋は通り過ぎたのですが、〇〇の秋週間を作っているの読み聞かせやアート活動を楽しんでいけたら良いなと思っています。 11月はこれといったイベントはないですが、12月になれば子ども達にとって楽しい冬休みやクリスマスがあるので子ども達に喜んでもらえるように準備していきたいと思います!!

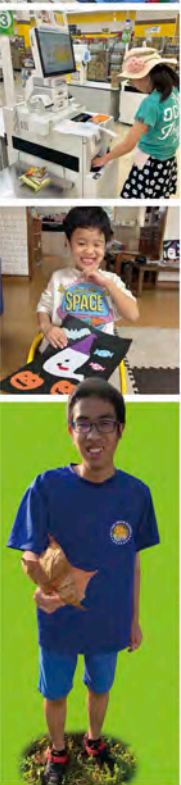


今年もあと1ヶ月ちょっとで令和7年が終わりです。個人的には、最近令和7年になったばかりと感じていたのは、僕だけではないはず。服装もいつの間にかコートや手袋を身に着けている姿を見ると、「1年が経つのが早いな」と思い、「ほっくる」の子ども達に言う「え、全然だよ。」田中さん、おじさんくさいよ。」と言われて自分の



年齢を自覚させられています。 イベント等は少ない月ではありますが、子ども達も就職・進学などが近づいており、普段とは違う表情も見ることが増えてきました。（一段とお兄さん・お姉さんになってきました。）子ども達によつては「ほっくる」に来るのが残り少なくなってきた子もいます。イベントは少ないですが、普段の何気ない子ども達との関わりを大切にしていきたいと思います。

放課後等デイサービス事業所「のーむ」文：田中真樹



This fall 今年の秋は、..

放課後等デイサービス事業所「にんぐる」
文：矢作裕子

こんにちは！2025 年も残すこと後1か月とちょっと…早いですね（毎年思う）皆さんはこの1年を振り返っていかがだったでしょうか？私はプライベートが充実した1年でした。 1月から計画していた6月に「東京へ遊びに行こう」では10年振りの飛行機、推し活で初の「武道会館ライブ」。11月にも札幌アリーナで推し活ライブがあります。このご褒美があって、また仕事が頑張れます（^o^）ノ 大人になると、褒めてもらえる機会

は少ないです。なので、皆さんも自分の事をたくさん褒めて、自分にご褒美をあげる事が大切です。秋と言うより、もう冬の入り口ですが、美味しい物をたくさん食べて、少し太って、コロナやインフルエンザに負けないように頑張りましょう！！ さて、「にんぐる」での実りの秋と言えば…3月に卒園した子ども達も小学1年生後半です。身長もすごく伸びてきて、なかには頭1つ分くらい伸びている子もいます。学校へ行くようになってからは、集団の輪の中に入れるようになったり、次の行動に移るまで

の時間が短くなったりと、様々な行動面で成長をしています。そんな「にんぐる」は、とにかく毎日がお祭りのように賑やかです。大きな声をだして走り回ることが大好きで元気いっぱいの子も達です。 走り回ることが楽しい気持ちは分かりますが、ケガにつながる心配もあるので、この元気い



令和7年

とむてまつり



まったり、
のんびり、
温泉 & ランチイベントが
実施されました！

A relaxing, laid-back hot spring &
lunch event was held!

就労支援事業所「すてっぷ」文：荒谷晴日

寒暖差が激しいこの頃です。「すてっぷ」事業所内でも 9 月下旬頃から風邪が流行し、メンバーさんとスタッフが次々と順番に風邪をひいてダウンしてしまふ…ということがありました。自分自身で気を付けていてもウイルスには勝てないですね。。これからはインフルエンザにも注意しながら過ごしていきたいと思います！！ さて、10月上旬には温泉&ランチイベントが実施されました！温泉は大人気だったようで、ほとんどのメンバーさんに参加をしていただきました (^ ^) / (通常の曜日以外でご参加いただいた方、利用の調整をしていただきまして有難うございました！) 前は雪の降る2月に行かない、凍えるような寒さの中で露天風呂 etc に入っていました、今年は10月にしては気温も暖かく、晴れ晴れとした天候でまったり&のんびりと楽しめたようです！ですが、スタッフもメンバーさんと一緒になってまったり&のんびりし過ぎてしまい、休憩スペースで寛いでいる様子の大事な写真を撮り忘れる…！！という失態をしてしまいました・・なので温泉の写真がありません。申し訳ありません (泣)

お昼ご飯にはイオンのフードコートに行きました。マクドナルドやケンタッキーなど自分の好きなメニューを選んでいます、スタッフもサポートに入りながら自分でセルフレジを操作したり、定員さんにオーダーをしたりと手探りながらも頑張って自分で注文をして美味しそうに食べていました！たまにはこのような外食ランチがあっても良いですね (^ ^) /

作業面では、今年度はJAの畑作業でたくさんの依頼がありました。大コンテナの組み立てやニンニクの選別を行ない、無事に9月末で終了となりました。畑作業担当のメンバーさんお疲れ様でした！ 10月下旬にはハロウィンモードに突入しているメンバーさんもハロウィン帽子を着用して取り組んでいました。ハロウィンの時期はパンの商品にもハロウィンの絵や文字を書いて店頭並べています。また、冬シーズンに向けて季節限定商品のアイディアを考えてくれたメンバーさんとは、「ここはどうしようか」「こうしたら良いんじゃないか」と相談しながら商品開発に向けて取り組んでいます (^ ^) / どんな商品が出来上がるのか？乞うご期待ください！



Autumn of Events
イベントの秋

移動支援事業所「とろっこ」文：豊嶋泰輔

先日、10月3日から10月5日にかけて市内で開催された北見秋祭・オホーツクマルシェ2025・に行ってきました。大規模なイベントで小さいお子様からご年配の方まで多くの方が来場されて盛り上がりつつありました。場所も広く、北見駅前広場では色とりどりのお花が並び、中央プロムナードにはクラフトマーケットで小物雑貨などが売られていました。特にNICC芸術文化ホール前や駐車場ではキッチンカーが賑わい、まさに「食の祭典」という様子でした。移動支援の利用者さんで行ったのは初日の金曜日で、17時開始ということもあり、あたりが暗くなってからのスタート。それでも天候が安定し気温もちょうどよかったため、会社や学校終わりの方々でしょうか、次々と来場する人でいっぱいになりました。聞くところによると、続く土曜日と日曜日でも晴天で大盛況だったとのこと。今回、移動支援としては初日の金曜日のみ参加でしたが、来年度以降にもご希望の方がいれば土曜日に行くのもアリだと思います。大きなイベントといえば夏のイメージで、実際にお祭りや花火も7月から8月にかけて集中しますが、このような秋のイベントが開催されることは季節ごとの楽しみが増えることにつながります。来年度も秋のイベントに注目して、利用者さんとともに楽しみにしたいと思います。



IPMC
感染防止対策委員会

文：衛生管理責任者 山川圭一



今年度も10月16日(木)に「とむての森 全スタッフ研修会」をNICC芸術文化ホールで開催いたしました。テーマは「**ノロウイルスについて～嘔吐物の処理を実際に体験してみよう～**」ということで、今回の研修では約二時間、講義や動画視聴、ロールプレイを通して、ノロウイルスについての学びから、適切な防護服の着用方法、消毒液の作り方、そして実際の処理手順まで、実践的な内容を学んでいただきました。特にロールプレイではスタッフ25名全員に嘔吐物処理をしてもらっています。5グループに分け事前に動画やお手本で処理の方法をお伝えしていますが、いざ実際にやってみると、防護服の着用にてこずったり、処理手順が飛んでしまったりと意外と時間がかかっていました。それでも、ペアのスタッフからフォローしてもらいつつ、楽しくわいわいと処理している様子に、「今回の研修をやってよかったなあ」と思う研修担当者でした！！今後も研修を重ね、より良い支援に繋がるように、みんなで協力していきたいと思います。



暑いと言っていたのに10月に入ってからもう寒いと言っております。10月の2週目には予想最低気温にマイナスが見えて「-1℃??」となっていました。季節の変わり目ということもあり環境の変化もありますが、うまく対応してみなさんにいつも通り落ち着いて過ごしてほしいなと思っています。冬の気配が近づいてくるとクリスマスが頭をよぎります。10月からまたいろいろな物の価格が上がリ日々節約などしている方も多いようです。お店に来るお客さんと話すことがありますが日用品など日々の生活に欠かせない物の値段が上がると、食費を抑えるという意見が多いのですが、変わらずお店に来てくれる方も多いことには感謝しています。クリスマスに向けてデミグラスソースなど仕込みで忙しく

なりますが、何年もやっているメンバーさん達は慣れた様子で食材の仕込みをしてくれます。玉葱、人参、セロリなど必要な分の野菜を計量して切り炒めて煮込みます。1回作るのに最低でも3日かかるため、この時期から仕込みをしないと間に合なくなります。先を見ながら予定を立てるのは苦手でなかなか予定通りにいった試しがありませんが、足元をしっかりと見ながら先を見据えてできればいいと思います。年末までがんばるぞー!!

As the year draws to a close

年末に向けて

ペーカリーカフェ LOAF 文：戸井田修一

